

学校だより



平成30年度 第31号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30. 10. 11

10月の俳句 身に沁むや人に聞かれし独り言
三浦 息おり

今週から後期のスタートとなりました。前期に引き続き、さらに生徒の皆さんの成長の手助けができるよう全教職員で協力して努力していきます。保護者の皆様にもこれまで同様、学校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

そして、後期に入ったばかりですが、明日12日（金）からは栃木県新人大会に1、2年生の多くの生徒が参加し、来週末には夕顔祭を迎えます。忙しくはなりますが、生徒はいろいろな活動を通して大きく成長します。結果だけでなく、それに向かう過程を大切に指導していきます。保護者の皆様にもお子さんへの励ましとねぎらいをお願いします。



10月5日（金）前期終業式



10月9日（火）後期開始の日の授業



10月10日（水）各学年の学年集会

1 中学生一日人権擁護委員の活動から

10月6日（土）、壬生町・下野市の中学生一日人権擁護委員の活動がありました。前半は、壬生町生涯学習館で意見発表を、後半は「道の駅みぶ」で街頭啓発活動を行いました。意見発表では、本校の代表、鈴木孝佳君、小川徳斗君は、「子どもと貧困について」というテーマでアフリカのガーナの子供達の実態から、教育が子どもたちの生活に重要であること、今できることとして、フェアトレードの商品を購入することなどを図表を使って堂々と発表しました。街頭活動では、着ぐるみに入り、ステージで発表したり、チラシなどを配ったりしました。人権擁護委員の皆さんは、人権についてのさまざまな相談を受け付けています。中学生も、1人1人の人権の大切さについて関心を高めてもらえればと思います。



壬生町生涯学習館での意見発表



「道の駅みぶ」で街頭啓発活動

2 夕顔祭 合唱コンクールの練習が始まりました

10月20日(土)夕顔祭の午前中に合唱コンクールが行われます。各学級で音楽室や多目的ホールを利用した練習が始まりました。練習の様子を見させてもらおうと、授業とは別の活気と頑張る姿を見ることができます。保護者の皆様も当日の発表を楽しみにしてください。



3 教育実習生も活躍しています

現在2名の教育実習生が実習を行っています。授業や合唱コンクールの練習まで、学級担任や教科担任と一緒に生徒の中に入り頑張っています。学校での様子を紹介します。



